

2019年6月23日、小山実稚恵さんの新たなピアノシリーズ、「ベートーヴェン、そして…」がスタートしました。ベートーヴェンのピアノ・ソナタの後期5曲（第28～32番）を軸にバッハ、モーツァルト、シューベルトのピアノ曲を組み合わせ、それぞれの演奏家の“生きざま”を表現することをテーマにしています。シリーズ第1回（いづみホール）はベートーヴェンのソナタ第28番とシューベルトの即興曲による“敬愛の歌”で、期待どおりの演奏に感動の渦が巻き起こりました。お聴きくださった方々の感想を、会場アンケートなどから抜粋し、紹介します。

6月23日 新シリーズがスタート

小山さんの渾身の演奏が 感動を呼びました

▽ 西宮市・Fさん

《感動した》シューベルトを深く理解できた気がしました。あまりCDを持っていない作曲家ですがもう少し聴く機会を増やそうと思いました。

【シリーズへの期待】6回とも完走予定です。関西での演奏会を増やして頂きたいです。

▽ Hさん（住所 不詳）

《良かった》どちらかというと身をかまえて（緊張して）参加しました。ベートーヴェンのあの厳しい表情ではなく、意外にもとても“おちゃめな”ベートーヴェンの顔にお目にかかることができ全く意外でした。続いてのシューベルト、まるで夢が尺から降り注ぐような、夢を覗いているような、そんな気持ちの良い響きの連続でした。いい意味で期待が外れて幸せでした。

【シリーズへの期待】毎回参加できるかどうかわかりませんが、次回はどんなベートーヴェンに会えるのかな？という期待ができました。来年はベートーヴェンイヤー、なるべくなら全部参加したいと思う。

▽ 吹田市・Sさん

《感動した》小山さんが曲をいかに美しく私達に届けて下さるか。それには様々な努力や苦心や工夫があると思います。それらすべてに感謝!!

ずっと2時間同じ席にいたにもかかわらず、美術館で絵を見ているようだったり、深い森の中を

小山実稚恵 ピアノシリーズ 「ベートーヴェン、そして…」 第1回

シューベルト：ピアノ・ソナタ 第13番

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第28番

シューベルト：即興曲 作品90、作品142 より

歩いたり、濃厚な映画のラブシーンを見てたり、満天の星空を見てたり、あるいは歯をくいしばって困難な状況から何とか生き伸びようと自分自身と戦っているような気持ちになったり、そんな盛りだくさんの時間を過ごさせてもらいました。ありがとうございました。

【シリーズへの期待】10年以上も年2回小山さんにお会いするのを楽しみにしてきました。シリーズもまた継続して小山さんにお会いできると知り、本当に感激しています。

世界を代表する音楽家でおられるにもかかわらず、いつも優しくあたたかく微笑みを向けて下さる小山さん。今日は新しい発見がありました。ピアノを弾いておられる小山さんの姿勢です。どんな激しい表現をされる時も体幹、肩、ひじの位置、それに手首、ほとんど同じポジションにあり、驚きました。

小山さんにあこがれ、再びピアノのレッスンを始める年になります。そんな自分のピアノが上手になりたい、という気持ちから発見できたのかもしれない。私も頑張ります。

〈次ページにつづく〉

▽ 亀岡市・Sさん

《感動した》今までのベートーヴェンと異なった音

【シリーズへの期待】素晴らしい、やさしい音の中の力強さ、感激しました。

▽ 豊中市・Wさん

《感動した》シューベルトのソナタよかったです。以前の20, 21番のソナタも良かったのですが、今回の13番は小山さんらしい優しさや救いのある明るさが表現されていてとても聴いていて楽しかったです。

【シリーズへの期待】次のCDは是非シューベルトのソナタ、今回の13番や、さすらい人とかお願いしたいです。

▽ 尼崎市・Dさん

《感動した》テンポ早く音が美しい。難しい曲をなにげにサラサラ。ランランのようなパフォーマンスが無い。シフのようにシーンと聴かねばならないでも無いだけに、すっと出て来て、何気の演奏、それが素晴らしい。キーシンのように辛気臭く無い。私も95歳、シリーズ何時迄聴けるか、足腰立つ間は来ますよ。

【シリーズへの期待】ピアノを叩きすぎて腱鞘炎にならぬよう、充分ご注意ください!!

▽ 橿原市・Nさん

《感動した》初めてのコンサートでしたがなかなか力強いタッチ柔らかな調べと楽しく聴かせていただきました。

▽ 大阪市城東区・Kさん

《感動した》今流行の、感情を身体で表すのではなく、大和撫子のような小山様。なのに身体に秘めた曲への情熱、音を大切になさる姿勢に感動致しました。以前も何だか着飾らない、楚々とした方だと思いました。こんなこと素人の私が申しますのは恥ずかしい、おこがましい事ですが、失礼の段お許しください。

「感想」の紹介のしかた（凡例）

- ・ご記入くださった方のご住所(市・区)と名字のインヤシヤル
- ・アンケートで選択いただいた《感動した》などの項、および 具体的な記述文

▽ (住所・氏名 不詳)

《感動した》久しぶりに美しいピアノの音色が聴けて、心癒されました。

小山さんの並々ならぬ情熱を感じるプログラムですね！素敵な時間をありがとうございました。

▽ 京都市山科区・Yさん

「ベートーヴェン、そして…」素晴らしい演奏会でした！ ベートーベンソナタ28番美しくて力強かったです！

シューベルトのソナタ13番のメロディがとても綺麗で今も心の中によみがえってきます。シューベルトの即興曲は調が変わる時の音色の変化が美しく聞き入っていました。小山さんは音符の一つ一つを大切に、ピアノを弾かれていて、まるでピアノと語り合っているようでした。とても美しく素敵な演奏会ありがとうございました！

いつも小山さんのピアノに力を頂いています。ありがとうございます

▽ 芦屋市・Mさん

《感動した》 小山実稚恵様 楽しみにしていた「ベートーヴェンそして…」シリーズがようやく始まり、とても嬉しいです。昨年11月の「アンコール…」公演では、32番の音の響きにもものすごく震えました。小山実稚恵様のベートーヴェンは、ピアノの一番気持ちのいい音が響き渡り、テニスに例えて言うならば球がラケットの真ん中の芯に当たり一番いい音を出して打ち返すときのような快感、ピアノの鍵盤を弾くときにカツンと順に伝わる快感、を溢れるほどに堪能させていただきます。

今回のコンサートも、フーガのように華やかに展開する28番の3楽章を、めくるめくピアノの快音に酔いしれて聴きました。次回以降の後期ソナタ4曲も、とても楽しみにしております。

話は少しそれます。実は敬愛するベートーヴェン先生のソナタですが、正直な気持ちを告白しますと、素人の私には驚きの展開が多く、納得が難しい箇所がたくさんあるのです。何と申しますか、急に話をきりあげる、突然違う話題になる、話が長い…、28番の3楽章の最後など何度聴いても「ええっ、終わりですか?!」と唐突な終わりの展開に呆然としてしまう…のです。とは言いながらも、何とかして理解しようと思ひ、結局繰り返してソナタを聴いてしまう。そして聴くたびにまた、その



ピアノの美しさを最大限にかき鳴らす壮大な展開に、耳はうっとりとしているのです。やはり、それがベートーヴェン先生のピアノなのですね。

いつも関西でたびたびリサイタルを開いてくださり、本当にありがとうございます。次回コンサートも、心待ちにしております。

▽ 豊中市・Kさん

わが子を愛しむように作品に接する態度、鍵盤に向き合うその姿勢、私も思わず姿勢を正しくしたのです。

正直なところ、これまでシューベルトといえば、

私には交響曲全集、序曲集でしか、接してきませんでした。バックハウス、フィッシャーの即興曲、楽興の時とかを聴くのがせいぜいでした。小山さんのシューベルトは、そのピアノ作品の素晴らしさを教えてくださった演奏です。ピアノの歌心を十分に存分に引き出した、あるいは語り尽くした演奏。聴いていて、あたかも歌唱がピアノについて聞こえてきそうな、歌曲王シューベルトのピアノ曲でした。

ご感想をくださいました皆さま、ありがとうございました。

シリーズ（大阪公演）の参加者にすてきなプレゼント

小山実稚恵のピアノ・シリーズ「ベートーヴェン、そして…」(大阪公演)に5回以上参加していただいた方に小山さん直筆の「サイン色紙」を進呈します。

また、「セット券」をお申し込みいただいた方、各回入場券の早期予約者の皆さんにも記念カード をさしあげます。詳細は後日、発表します。

「ベートーヴェンそして…」プロジェクトチームに参加しませんか

大阪新音は、小山実稚恵さんのピアノシリーズ「ベートーヴェンそして…」を盛り上げていくため「プロジェクトチーム」を立ち上げ、運営しています。「ベートーヴェンそして…」のシリーズの趣旨、コンサート内容、小山さんの魅力などを広く音楽ファンに知らせていくことを取り組みの柱にしています。この「公演だより」もプロジェクトチームが編集、制作しました。

メンバーは現在、20人(登録制)ですが、引き続き募集しています。関心をお持ちの方はぜひご参加ください。お問い合わせは ☎ 06-6926-4888 (大阪新音事務局) まで。